



川本 行  
薬事日報社  
東京本社 〒101-8648  
代田区神楽坂1-10  
電話 (03) 3862-2141  
FAX (03) 5821-8757  
大阪支社 〒541-0045  
中央区西船場1-10  
電話 (06) 6203-4191  
FAX (06) 6233-3681  
購読料 年3,300円  
(税別) 1年33,550円

きょうの紙面  
日医の分業否定発言  
に日薬反論……②  
薬価抜本改革を憂慮  
PhRMA……②  
阪大に共同講座設置  
小林製薬……④  
中国系新薬メーカー  
が上陸……⑦  
本号8ページ

# 検体測定室の登録継続5割

## 「自己治療」へ貢献意識高く 人員とスペースに課題も

### 第一薬大、佐賀県薬調査

自己血種測定事業に参加した保険薬局が検体測定室として登録を継続している割合は56薬局中30薬局(53.6%)と約半数にとどまる。佐賀県薬剤師会と第一薬科大学の調査グループの調査で明らかになった。実際に稼働していたのは23薬局で、多くの薬局はセルフメディケーションへの貢献を理由に、無料で500円以下の低料金で検体測定室の取り組みを継続していた。地域住民の健康増進に貢献したいとの高い意識がうかがえる一方、人員やスペースの問題で継続できない切実な課題も浮かび上がった。

### 再生医療の規制調和目指す アジア初の国際会議開催

アジアの再生医療関係者による初の国際会議「第1回アジア再生医療規制調和会議」が11日、都内で開催された。再生医療の規制調和をアジア全体で目指していくことに合意した。FIRMの戸田雄三会長(単ライルム副社長)は「再生医療の規制調和は、再生医療の発展に不可欠な要素であり、アジア各国で異なる規制環境を乗り越え、再生医療の発展に貢献したい」と述べた。

佐賀県薬師会は、2014年度と原因について、同事業に参加した37薬局について4月に厚生労働省から検体測定室に関するガイドブックが送られたため、14年度と15年度の厚労省委託事業(薬局・薬剤師を活用した健康情報推進事業)で自己血種測定事業を実施した。その一環として、薬局店頭における自己血種測定による健康情報の早期発見と受診勧奨への取り組みを進めた。

アジアの再生医療関係者による初の国際会議「第1回アジア再生医療規制調和会議」が11日、都内で開催された。再生医療の規制調和をアジア全体で目指していくことに合意した。FIRMの戸田雄三会長(単ライルム副社長)は「再生医療の規制調和は、再生医療の発展に不可欠な要素であり、アジア各国で異なる規制環境を乗り越え、再生医療の発展に貢献したい」と述べた。



The 1st Asia Partnership Conference of Regenerative Medicine Associations April 11, 2018  
APACRMに臨んだ各国代表者

継続を難しくしていることが考えられた。同事業の終了後も検体測定室の登録を継続していた30薬局のうち、血種値とHbA1cが基準値の受検者に受診勧奨などのフォローを行っていたのは9薬局だった。

「無季言」  
◆「二兎追う者は兎も得ず」という古い諺はこの選手に通用しない。野球の米ジャリーグでロサンゼルス・エンゼルスの大谷翔平選手が「投手」一野手の二刀流で旋風を巻き起こしている。投げては勝負、打っては毎試合本塁打、ヒットを放ち打点を稼ぐ。開幕前に

過渡期にいた担地振替自らの結果で押し込み、全米を賞賛に変えた。◆二刀流の凄さを製薬業界で例えるのであれば、月曜日と火曜日は研究費をこもって化合物を合成する研究者、水曜日、木曜日地域の医療機関を訪ねているMR、金曜日は午前・午後で、研究者とMRをこなしている◆になるのかもしれない。◆製薬業界も才能を演じてはけない。

平成30年度の調剤報酬改定内容がすぐわかる!  
**調剤報酬実務必携** 平成30年4月版  
調剤報酬に関する実務に必要な知識と情報をコンパクトにまとめ、改定内容の要点、調剤報酬の基本、関連法律をやさしく理解できる実務に役立つ一冊。  
◆カラーでわかりやすい要点解説!  
◆ポケットに収まる便利なサイズ!  
北海道医薬総合研究所 編者 A6変型/120頁 定価463円+税  
薬事日報社 書籍のご注文は、オンラインショップ(<http://lyakuji-shop.jp/>)または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。